



# 底流

## 継続的な麻疹・風疹の流行予防を！

2015年3月に日本は麻疹排除国に認定された。この状態を維持するために、全年齢におけるワクチン接種対象者の発見と接種勧奨の継続が求められる。

東京都は2020年のオリンピック・パラリンピック大会の開催を前に、麻疹・風疹の感染予防に力を注いでいる。麻疹ワクチン接種の勧奨により、2000年以降世界的に麻疹患者数、死亡者数ともに減少しているが、2016年には1年間で9万人が麻疹により死亡している。麻疹の流行を阻止するためには95%以上のワクチンの接種率が必ず必要とされるが、紛争などの影響もあり世界的には1回接種で85%、2回接種に至っては64%にすぎない。

我が国において麻疹ワクチンは1966年から、風疹ワクチンは1976年から任意接種として開始された。麻疹は1978年から、風疹は1977年から定期接種となった。接種回数や接種対象者などの変更を経て、現在は1歳

現在、都内では子どもを希望する19歳以上の女性とその配偶者で風疹抗体価の低い人へのワクチン接種事業が展開されている。国立感染症研究所の感染症流行予測調査によると、2歳以上の日本人すべての年齢でPA抗体価1・16以上の抗体保有率は95%以上、麻疹・修飾麻疹の発症予防の目安とされるPA抗体価1・128以上についても0・1歳および9・15歳を除くすべての年齢で85%以上である。この数年、海外からの帰国者・入国者により持ち込まれたウイルスによる麻疹小流行が起こっている。

## 地区医師会長連絡協議会報告

平成30年3月16日(金)

尾崎治夫会長は挨拶の中で、「3月25日に第141回日本医師会臨時代表委員会が開催される。都医からは代表質問1題と個人質問2題を予定している。」

また、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市は東京である。このたびの厚生労働省案が成立しても、国際的に求められている受動喫煙防止の体制は整わな

い。東京都における受動喫煙防止対策をより一層推進し、都民の健康を守るための条例を制定するために4月から署名活動を行う。医療関係者だけでなく、一般の方々や連携して活動を広めたい。今回の署名活動はインターネットでもできるように準備している」と述べた。

多くの子どもが命が救われているが、それに伴って医療的ケアを必要とする病児や障害を抱えて生活をしなければならぬ子どもも増えている。在宅医療が必要な小児に

現在、都内では子どもを希望する19歳以上の女性とその配偶者で風疹抗体価の低い抗体価を多くの人が保持している一方で、1・128未満の低い抗体価の人が存在していることがこれら小流行に關与していると推測されている。就学前、海外渡航前など機会を捉えてワクチン接種対象者の発見と接種勧奨・実施を個々の医師が行い、麻疹排除状態の維持、先天性風疹症候群の赤ちゃんの出生予防に努めることが求められている。(川上恵)

東京都市における受動喫煙防止対策をより一層推進し、都民の健康を守るための条例を制定するために4月から署名活動を行う。医療関係者だけでなく、一般の方々や連携して活動を広めたい。今回の署名活動はインターネットでもできるように準備している」と述べた。

健康寿命の延伸と元気で活力ある健康的な都市の実現のため、医療の専門家集団として次の宣言をまとめた。日医をはじめ関係機関に送付予定である。

・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努める

・習慣的な喫煙行為が、ニコチン依存症となる危険性があることを啓発し、ニコチン依存症者に対しては継続的な禁煙を支援する

・行政に対して、完全な受動喫煙防止が達成できるように措置を求め、それに協力する

・未来の担い手である子ども達に対して、喫煙防止教育の徹底・充実に向けて、学校医療等の立場から協力する

・自らの会員に対して、禁煙の必要性のさらなる理解を進め、市民の模範となるべく、「会員の喫煙率ゼロ」を目指す

・タバコのない社会・都市を最終的な目標とする

・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努める

・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努める

・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努める

・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努める

・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努める



### 東京都受動喫煙防止条例(仮称)に関する賛同署名のお願い

2020年のオリンピック・パラリンピックまでに受動喫煙をなくしましょう

2020年のオリンピック・パラリンピックでは、IOC(国際オリンピック委員会)より「たばこのないオリンピック」の実現が求められております。

受動喫煙が健康に悪影響を与えることは、科学的に明らかにされています。

本会では、受動喫煙防止対策をより一層推進していくため、原則屋内全面禁煙をより徹底し、利用客と働く人を受動喫煙から守る、都民の健康を守る条例が必要であると考え、未成年者を含む全国民を対象に署名活動を行うことといたしました。

詳細は、東京都医師会ホームページ(https://www.tokyo.med.or.jp/7963)に掲載しております(スマートフォン・タブレットをお持ちの方は、下記のQRコードからもアクセスいただけます)。

東京都において、上記趣旨の受動喫煙防止条例を制定することに賛成の方は、ぜひご署名いただきますようお願い申し上げます。

問合せ先 東京都医師会 総務課 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 電話 03-3294-8821(代)



# 東京都医師会 定例記者会見



尾崎会長

3月2日(金)、東京都医師会館にてマスコミ数社が集まる中、天木聡理事司会進行のもと、以下の内容で定例記者会見が行われた。

## 受動喫煙等について―厚労省案と都条例等

(尾崎治夫会長)

2025年、団塊の世代が後期高齢者になり日本の人口構成が大きく変化する中、健康寿命の延伸が大きな課題となることは疑う余地もない。また2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるが、2007年にWHOが公共の場での全面禁煙を求めている。2008年北京大会より3大会、開催都市で飲食店を含め全面禁煙が達成されたが、

残念ながら東京大会における厚労省案では「未成年者が集まる医療施設や小中高校を含む教育施設でも屋外であれば喫煙場所



鳥居理事

シンポジウムが「地域医療システムとインベーション・UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)の基盤を築く」をテーマに日本医師会館で行われた。関連会議として2月18日(日)、「2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしての健康・タバコフリー社会づくりに関する国際会議」が東京都医師会館で行われた。

を認める「飲食店においては屋内にすら喫煙所を認める」あるいは「床面積によっては全面的に喫煙を認める」「加熱式タバコは喫煙可とする」など、WHOやIIOCの求める基本姿勢からは大きく後退したものとなっている。厚労省も条例による受動喫煙防止対策についてはさらに厳しい基準を設けることを妨げないとしているため、より厳しい規制を求める署名活動を3月下旬頃より行い、6月に開かれる都議会を前に東京都に要望を提出する。

## 武見太郎記念国際シンポジウムについて―レガシーとしての健康・タバコフリー

(鳥居明理事)

2月17日(土)、日本医師会、ハーバード大学、武見記念生体科学研究基金、東京都医師会の共催で武見太郎記念国際シンポジウムが「地域医療シ

ンポジウムが「地域医療システムとインベーション・UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)の基盤を築く」をテーマに日本医師会館で行われた。関連会議として2月18日(日)、「2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしての健康・タバコフリー社会づくりに関する国際会議」が東京都医師会館で行われた。



日々澤理事

「それでも、毎日できる運動」として、今より10分多く歩くウォーキングやストレッチ運動(ラジオ体操)、筋力運動(スク



西田理事

在宅医療基礎知識の構築と在宅医療養成を主眼とする東京在宅医療塾(全9回)では、総論3回に引き続き各論を行って

## 第6回 神経難病の在宅医療

第1期「東京在宅医療塾」

を務め、小児から高齢者までを対象とする「神経難病の在宅医療」の基礎知識や患者・家族を含めたトータルケアの必要性に関する講演が行われた。

「在宅医療管理について」では、太田雅也世田谷ホームケアクリニック院長より「食育と嚥下」の高齢化に応じた食支援・摂食嚥下の過程を考慮した嚥下障害の基礎から考慮した神経難病患者の特徴と、食物の温度を考慮した嚥下食

理を考慮した栄養管理、在宅人工呼吸管理、「生きるためのケア」である終末期ケアを解説した。

最後に、神経難病の診療報酬事例を示して神経難病の在宅医療への理解を深め、診療報酬の説明を行い講演セッションは終了となった。神経難病の在宅医療管理を行うため、今回の講演は必要不可欠な基礎知識と実践利用できる管理法が解説され、とても有意義なものとなった。

## 中央ブロック医師会 広報担当理事連絡会

2月21日(水)に中央ブロック医師会広報担当理事連絡会が都内のホテルで開催され

の金吉男文京区医師会長より「医師会事業の一つである広報は区民と医師会をつなぐ大切な事業であり、忌憚のない意見交換をしていただきたく

た、東京都医師会の広報活動も外部から広報専門の人材を迎え、より良いものに変える試みをしている」と来賓挨拶があった。

続いて、進士雄二広報委員、会長より「タバコ対策を含め、医師会が主導権を持つとして唯一継続されているの

れている。東京都では東京総合医療ネットワークを推進しており、3月中旬に8病院でモデル連携が行われ、4月中には実際のデータを共有する段階までできている。

「参加メディア」日本医事新報社、社会保険実務研究所、クリニックマガジン、じほう、日本医療企画、エムスリー、東洋経済新報社、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、東京新聞、NHK、MXテレビ、ウェッジ

会の広報について説明があった。その後、各医師会より広報活動について報告が行われた。区民への公開講座、医師会会員への情報提供のための会報などに独自の

最後に次期当番医師会の永瀬裕三中央区医師会理事から来期についての挨拶があり、中央ブロックの各医師会が今後の広報活動に新たな決意を固めた有意義な連絡会は閉会となった。

121 みどりの広場

医師の働き方について

東京都済生会中央病院 研修医

久保 創



医療関係でない友人と労働時間、休日体制について話を...

よく目にする。たとえば、○病院では医師に月に200時間以上の残業時間を強いて...

が痛む。現在の医療や病院経営は、勤務医の過重労働、それも一般の基準であれば過労死基準を...



LaLa テラス周辺と高層マンション

南千住汐入地区。以前は貨物基地隅田川駅や工場跡地が多くを占めた地域でした...

れ、春には280本の桜も楽しめます。遊歩道は片道約2.5キロメートルで、多くの人が散歩やジョギングに利用しています...

LaLaテラスにはスーパー、衣料品、雑貨のほか、多くの飲食店などがあり、最近では隣接してホームセンターも開店し賑わいを増しています...

南千住・汐入地区 豊かに生まれ変わったニュータウン

趣味の散歩

LaLaテラスにはスーパー、衣料品、雑貨のほか、多くの飲食店などがあり、最近では隣接してホームセンターも開店し賑わいを増しています...

(荒川区医師会・金子織音)

医師国保からのお知らせ

平成30年4月からの保険料について

平成30年4月分より、医療給付費保険料、後期高齢者支援金等保険料、介護納付金保険料を下記のとおり改訂いたしました。

Table with 4 columns: Insurance Type, Medical Insurance (Monthly), Care Contribution Insurance (Monthly), and Late Elderly Insurance (Monthly). Rows include 1st, 2nd, Family, 3rd, and 4th types.

※介護保険料は、40歳以上65歳未満の方が該当します。
※後期高齢者組合員保険料は、第3種・第4種組合員(75歳以上)の方が該当します。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6433 (業務課)

「都医ニュース2号」をお持ちの方はご一報ください
東京都医師会広報学術情報課 ☎ 03-3294-1882

知ってますか?

事業推進区域

地域医療構想では、2025年に向けて病床機能分化を目指し4つの医療機能別に病床数を推計。推計の対象区域を構想区域とし二次医療圏を基本的に考えている...

掲示板

「ややこしい自分」とうまく付き合う方法

上田容子 著



元来農耕民族の日本人には、完璧主義・すべき思考・他人の評価に過敏など、物事に対する「こうえ方」の特徴を持つ人が多い。平穏や安定を望み、少しでもつまずくと不安になったり落ち込みやすくなる。

著者は、歪んでしまった考え方のクセを自分で応援する方法、ネガティブループから抜け出し、ささやかなことにも喜びを感じられる方法を紹介している。24時間戦い続けることは不可能なのだから、逆風の状況もあり得ると受け入れ、ダメになっている自分でも嫌わずにいると良いと説く。

「ややこしくなってしまった心」をニュートラルな状態に戻す心身のアプローチ、現実の受け止め方を変える方法、心に好影響を与える具体的な身体のケア方法も書かれている。著者自身の軌跡を振り返り平易に書かれていて、大変に親しみやすい。

価格▼1300円(税別)
発行▼幻冬舎

# 心れあいポスト 各地区会報から

玉川医師会

中澤裕美子

## 子供のパワー

私は今、小4、小2、年中の3児の子育て中です。3人ともパワフルで毎日バトルが絶えません。

ベビーシッターさんが保育園のお迎えをして、食事も作ってくれるのですが、20時過ぎに帰宅し、宿題、お風呂、歯磨き…、とやらせるとあっという間に夜中になりぐったりです。勉強嫌いの長男の宿題をみていると、集中力のなさ、いい加減さについてイライラとして、怒る感情を抑えるのにやっと。抑えきれずに言うと、大バトル。おまけに、下の2人の子供たちの方でも大喧嘩が勃発し、收拾が付きません。親や先生などに相談をすると、よく考えて解析してくださり、家庭環境、愛情不足、障害など将来が心配になる厳しい言葉が返ってきます。頑張るほど顔は険しくなり、眉間にしわが寄るか感情を消したくなってしまふ…。

そんな状態でしたが、ある友人から、「本当に問題行動？ あまり考えなくてもいいんじゃない？」と言われ、だいぶ楽になりました。NOを出せるのはちゃんと成長している証、子供が怒るのはただ怒っているだけ、愛と憎しみは表裏一

体、と考え直し、子供の怒りや泣きに深刻な解釈を加えないよう意識するようになりました。嫌なんだねー、嫌って表現できるってすごいね、怒ってるってことは大好きなことなのかな、と解釈を変えながら考えると、なんとか乗り越えられるようになってきました。

子供のパワーは凄まじいので、問題行動(大人にとっての)に直面すると、そのまま将来が心配になって、それが心配で受診される患者さんもたくさんいます。でももしかしたら、解析すること以上に大事なのは深刻に考えすぎないことかもしれません。

クリニックではママたちが息抜きできるように、空いている時間を利用して、イベントを始めました。アイシングクッキー、貝殻フォトフレーム、バルーンアート、そして今後ベビーマッサージなど。偉そうに子育て支援なんてやれるほど、自分の子育てではできてないな〜と猛省しつつ、まあ、共感しながら楽しく乗りこえられる工夫をしていったらいいかな、と考えて、子育て相談や支援イベントをしています。

(玉医ニュース 平成29年12月号から抜粋)

町田市医師会

中林 豊

## AIロボットクリニック開業!

10年後、私の医院の隣に、AIロボットクリニックが開業した。

彼(?)は、365日24時間診察している。クリニックに入ると、車椅子に座らせられ、タブレット端末で問診をされる。車椅子は自動運転で、空いている診察室に誘導され、AIロボット先生の診察を受ける。必要とあらば、エコー、CTやMRI検査を受けたり、とてもチャーミングなロボット看護師に1滴採血してもらったりする。検査が終わると、再び診察室へ誘導され、診断名を告げられる。私の病気は、60%の確率で〇〇、15%が△△、10%が▲▲、その他諸々と言われる。EBMに基づき、ガイドラインに従って、□□を処方するので、60%治るが、治らなければ次に■■を処方するから、再診するように指示された。また、薬の副作用は、※※なので、副作用が出たら、あーしろこーしろと言われる。処方箋を受け取り、クリニックを出ると同時に、診察料は電子マネーで決済されるか、銀行から引き落とされている。

引き続き近くの24時間空いているロボット薬局へ行き、ロボット薬剤師さんから薬をもらう。当然、薬代も電子マネー等で決済される。

現在でも、自動運転の車が実験段階ではあるが、実際に道を走っているし、囲碁や将棋の世界でも、AIには敵わない。人口減少、人手不足の日本においては、AIロボットに仕事を任せるのも自然の流れである。医療介護の分野でも、従事者の過重労働の問題があり、ロボットに仕事を任せられることは任せる時代である。医師も膨大な医学知識を要求され、また日々更新を余儀なくされているが、頭脳はAIに勝てるはずもない。

そんなわけで、私の医院もいよいよ廃業に追い込まれる状況にあるが、昔からの患者さんが結構来てくれる。患者さんは、入って来るなり、「先生、元気ですか?」とこちらを気遣ってくれる。「あなたこそどうですか?」と言って、世間話が始まる。先日、旅行に行ってきたとか、美術館で誰々の絵を見てきたとか、近くに美味しい店ができたとか、おそろ医療とはかけ離れた話をして帰る。さすがに処方箋はレセコンから出すが、診察代は現金払いである。後日、患者さ

んから言われた。

「先生の薬は、よく効くよ」と。

(町田市医師会報 平成30年1月5日 第525号から抜粋)



ヨーロッパ最大幅グルトフォス(黄金)の滝 —アイスランド— 練馬区医師会 齋藤致司

# 無 声 拜 聴 いつのまにか骨折？

羽生結弦選手、2連覇おめでとー！  
 彼が昨年、右足首を挫いたニュースを見て、よく脚が折れなかったものだと思心しました。  
 骨粗鬆症の人だったら、間違いなくポッキリでしょう。もっともそんな人は4回転ジャンプに挑戦したりしません。

ADL、QOLの低下を招き、生命予後を短縮させる骨粗鬆症。日本は高齢化が進み、骨粗鬆症の治療率は極めて低い。だから、骨粗鬆症の予防や治療は、重要な課題です。特に痛みもなへ、骨粗鬆症とは気付かず生活していて、たとえ転ばなくても、僅かな衝撃でも骨折してしまい、痛くなつて病院に行くと、骨粗鬆症と知らされる。入院手術リハビリ。そして介護が必要になってしまいます。これでは困ります。

## 健康寿命を延ばすためにも、この際、骨密度測定(骨塩定量検査)を定期的に健康診断に組み込んでみてはいかがでしょうか？

また、ついどこ言っただけですが、喫煙も骨粗鬆症を促進すると言われていますので、禁煙キャンペーンともタイアップできるかもしれませぬ。(天畑隆郎)

# われわれの身近にあるマラリア

マラリアは熱帯地域だけの病気ではない

世界三大感染症の一つであるマラリアはわが国では年間50~100例の報告があるが、いずれも輸入例で、6割はアフリカ滞在中の感染である。その多くは致死性のマラリアであり、迅速な診断と治療が必要となる。

さて、昨今多くの日本人が韓国へ旅行しているが、帰国後に発熱した場合マラリアを想起する必要はあるのだろうか。熱帯病のイメージが強いマラリアだが、マラリア原虫はかつて日本全国に蔓延していた。実は韓国では、一度ほぼ排除されたマラリアが1993年以降、北朝鮮との非武装地帯に勤務する警備兵の間で再興し始めた。その後多くの地域に広がり、2000年には13,903例の患者が報告され、2010年にはソウル市でマラリア警戒注意報が発令された。現在は年間数百例と沈静化しているが、マラリアが常在している国であることに変わりはない。北朝鮮ではさらに深刻で、2016年には5,033人の患者が発生しており、媒介蚊を通じて韓国へ運ばれている可能性が指摘されている。朝鮮半島でマラリアを媒介しているのはシナハマダラカという蚊で、患者の発生は蚊が活性化する初夏から秋にかけて集中している。この時期に韓国に出かけた患者に発熱の症状が見られた場合は、マラリアを想起する必要があると言えそうだ。

もう一つ。マラリアにはいくつか種類があって、三日熱マラリアでは根治治療をしないと再発する。韓国で感染するのはこのタイプだ。ある流行国から帰国後1年経ってから発熱、三日熱マラリアと診断された人がいる。この方は滞在中にマラリアの診断は受けていなかったのだが、熱があるとマラリアの自己治療をしていたようだ。世界を渡り歩いている人の中には、このような猛者が結構いる。1カ月以内とされるマラリアの潜伏期にとらわれず、再発するマラリアの可能性についても想起する必要がありそうだ。(文責：美田敏宏)

感 染 症 豆 知 識

東京都医師会 感染症予防検討委員会

## 都医からのお知らせ INFORMATION

### 第434回国際治療談話会例会「日本の先進医療はここまで来た」

問 答 (公財)日本国際医学協会事務局 E-mail: admin@imsj.or.jp

日時▶ 5月17日(木) 18時~20時 会場▶ 学士会館2階  
 講演▶ ①「マイクロ・ナノ工学と医療 一患者QOL向上を目指して」三木則尚(慶應義塾大学理工学部 教授) ②「未来医療とは~ICTやIoTやAIが活躍する医療~」高尾洋之(東京慈恵会医科大学先端医療情報技術研究講座 准教授)  
 感想▶ 「自然と健康を科学するーサムシング・グレートー」加藤照和(株式会社ツムラ 代表取締役社長)  
 会費▶ 会員5,000円、非会員6,000円、学生2,000円  
 取得単位▶ 日医生涯教育制度1.5単位(CC:9、13)、(公財)日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度1単位

# 日本医師会生涯教育講座

日時 平成30年5月17日(木)  
午後2時～5時  
場所 東京都医師会館 2階講堂  
(千代田区神田駿河台2-5)  
TEL:03-3294-8821(代表)

日本医師会生涯教育制度 合計2単位  
カリキュラムコード 9、61、73、77  
日本内科学会認定総合内科専門医更新単位 2単位

## 関節リウマチの薬物治療

### Up-to-date

座長 東京都医師会理事

落合和彦

聖マリアンナ医科大学

リウマチ・膠原病・アレルギー内科教授

川畑仁人先生

東邦大学医療センター大森病院

リウマチ膠原病センター教授

南木敏宏先生

共催 東京都医師会  
田辺三菱製薬株式会社

### 関節リウマチの病態と治療に関する最近の進歩 川畑仁人先生

関節リウマチは、多発性関節炎を主徴とする自己免疫疾患の一つであり、遺伝要因と環境要因の相互作用による潜在的自己免疫を経て生じる。遺伝要因として100以上の疾患感受性遺伝子が明らかになっているほか、環境要因として喫煙や歯周病、腸内細菌の関与が示唆されている。

病態形成には、多様な免疫担当細胞、線維芽細胞、サイトカインなどが関与している。従来の治療は、非ステロイド性抗炎症剤やステロイド、古典的な疾患修飾性抗リウマチ薬が中心であったが、関節破壊抑制効果は十分ではなかった。しかし、メトトレキサートや分子標的薬により、寛解を目指す治療戦略が可能になりつつある。この治療の進歩は、リウマチの評価法や新たな副作用への注意など、リウマチ診療全体を大きく変えている。

### 関節リウマチの診断から治療まで 南木敏宏先生

関節リウマチは、慢性の多関節炎を特徴とし、病変の首座は関節滑膜の炎症である。骨破壊や関節変形も引き起こし、日常生活動作の低下をもたらす。

2010年に米国および欧州リウマチ学会が合同で新しい分類基準を発表している。それ以前のものと比較して、より早期の診断・治療が可能になった。また、画像検査として関節エコーが広く用い

られるようになり、関節炎(滑膜炎)を検査所見としても捉えられるようになった。

一方、日本リウマチ学会が2014年に診療ガイドラインを作成した。メトトレキサートでの治療開始が勧められている。TNF阻害薬を始めとする生物学的製剤やJAK阻害薬などの分子標的薬が広く用いられるようになり、関節リウマチの予後は改善している。



医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医<sup>ニュース</sup>NEWS

2018

Vol.  
626

## 地区医師会長からの一言

# 豊島区における 地域包括ケアシステム醸成の一端

豊島区医師会長 高橋清輝



東京都医師会では、現在2本の柱を打ち出しています。1つは受動喫煙防止を中心としたタバコ問題、もう1つは運動不足の解消でフレイル予防に直結するものです。フレイル対策は介護予防につながり、今後の超高齢社会において重要なポイントとなることは、かなり浸透してきた考え方と言えます。

東京都では二次医療圏に地域リハビリテーション支援センターを設置し、区西北部では、板橋区にある東京都保健医療公社豊島病院がその役を務めています。『地域リハビリテーション』とは、日本リハビリテーション病院・施設協会によると、「障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う」とされています。しかし、豊島区には最近まで区内のリハビリテーションを統合するシステムがなく、行政など各方面がリハ職にそれぞれ声をかけてきたため、豊島区在宅医療連携推進会議が在宅リハビリテーションのために置くりハ部会（地域保健課管轄）、介護予防事業のために発足した豊島区リハビリテーション従事者連絡会（高齢者福祉課管轄）、公益社団法人東京都理学療法士協会区西北部ブロックの豊島支部、そして区西北部地域リハビリテーション支援センター協力病院が別に指定されるというふうに、いろいろな組織ができてしまっていました。その問題を区に訴え、平成29年度から医師会が加わってこれらを連動させるた

めに会議体を開き、リハビリテーション講演会を開催することにしました。加えて、リハビリテーション従事者連絡会が、豊島区が独自に開発した介護予防のための体操（としまる体操）研修のために開催する介護予防サポーター・リハ職合同研修会『地域で活動するためのリハビリテーション講座』に協力し、私がフレイルに関する講演を行ったり、リハ部会の研修会にも医師会理事らが参加するようにいたしました。このような流れの中、平成30年度は、豊島区がリハビリテーション協議会の開催と別に研修会を年2回開催できるよう費用を予算化してくれました。

豊島区は現在、「区民ひろば」8カ所に各2名のコミュニティソーシャルワーカーを配置しており、平成30年度にさらに2カ所を増やす予定です。地域共生社会の確立に力を入れていると同時に、地域包括ケアシステムの構築を図っていて、東京都で唯一のセーフコミュニティの認証も受け、本年再認証されました。そんな中で、豊島区医師会は、医療介護連携をはじめすべての福祉保健活動に協力してくれる医師会として、徐々にではありますが評価されてきています。ともすれば、医師は敷居の高い存在ととらえられやすいですが、区内に8つある地域包括支援センター圏域で多職種連携の会をそれぞれ年2回開催し、顔の見える連携を作るために多くの会員が頑張ってくれています。豊島区医師会のウェブサイトからは、数年前に各医療機関のケアマネタイムの掲載を撤去いたしました。在宅医療のために医師が多忙を乗り越えること、そしてICTを利用した新たな連携が進むように願ってのことです。